

みずほCustomer Desk Report 2016/06/21 号(As of 2016/06/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	104.72 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.64	1.1347	118.76	0.9603	1.4585	0.7428
SYD-NY High	104.85	1.1383	119.12	0.9642	1.4721	0.7481
SYD-NY Low	103.77	1.1288	117.37	0.9576	1.4390	0.7405
NY 5:00 PM	103.92	1.1314	117.59	0.9620	1.4675	0.7455
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.285/12.87		△25RR	2.655	Yen Call Over	
NY DOW	17,804.87	129.71	債券市場	日本2年債	-0.2460	0.3bp
NASDAQ	4,837.21	36.88		日本10年債	-0.1450	0.5bp
S&P	2,083.25	12.03		米国2年債	0.7451	5.2bp
日経平均	15,965.30	365.64		米国5年債	1.1824	7.0bp
TOPIX	1,279.19	28.36		米国10年債	1.6886	8.1bp
シカゴ日経先物	15,900	260.00	為替市況	独10年債	0.0510	3.2bp
ロンドンFT	6,204.00	182.91		英10年債	1.2380	9.4bp
DAX	9,962.02	330.66		豪10年債	2.1390	6.3bp
ハンセン指数	20,510.20	340.22		USD/CNH	6.5901	▲0.0072
上海総合	2,888.81	3.70		ドルインデックス	93.64	▲0.57
USDJPY 3M Vol	11.66	▲0.30%	商品市況	CRB指数	194.406	2.03
USDJPY 6M Vol	11.69	▲0.01%		NY金	1,292.100	▲2.70
EURJPY 3M Vol	13.94	▲0.56%		WTI	49.370	1.39
EURJPY 6M Vol	13.19	▲0.26%		Dubai Spot	46.18	2.03

東京	先週金曜日の海外時間にリスクオフセンチメントが後退した流れを引き継ぎ、シドニー時間オープン後、英ポンドやユーロが大きく買い戻される展開、ポンドやユーロ円の上昇に引っ張られる形で、ドル円も104円台前半から104.80近辺まで上昇。その後、104円台半ばまで反落する不安定な相場付きとなるも、東京時間オープン前に発表された本邦5月貿易収支が予想+70億円に対し実績▲407億円と、赤字に転落したことを受けてドル円は104.75近辺まで再度上昇。かかる中、東京時間のドル円は104.64レベルでオープン。日経平均株価が上昇して寄り付いた後、前日比300円超に上げ幅を拡大したことを背景に、ドル円は一時104.85まで上昇。しかし週後半に英国民投票を控えて積極的に上値を追う地合でもなく、104.60近辺まで押し戻されると同水準で方向感無く推移し、104.74レベルで海外市場に渡った。また上述の通り、英ポンドはシドニー時間オープン後、急激に買い戻される展開にポンドドルは1.46台まで急騰。その後も一時1.4625高値を付けるなど堅調に推移し、1.4582レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は104円台半ばで上値の重たい展開となった。朝方は104.74レベルでオープン。アジア時間に上昇したユーロ円が調整で軟調推移となる中、ドル円もつれ安となり一時104円台半ばまで小幅下落。しかし英国のEU離脱国民投票のベタニング・オックスが残留優勢を示す中でポンドドルは152円台後半から153円台前半で堅調に推移し、これを背景にドル円は再び底堅さを取り戻し、104.58レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1345レベルでオープンし、1.13台前半から半ばまでのレンジ内で推移。欧州株が前日比大幅プラス圏で推移していたにも関わらず、ロンドン勢入り後からユーロポンドが下落し軟調推移となる中、ユーロドルもつれ安となり、1.1329レベルでNYへ渡った。英ポンドは前述の残留優勢のベタニング・オックスを背景に終日堅調となり、朝方は1.4582レベルでオープンし、1.4637レベルでNYへ渡った。(ロンドントルーパー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は104.58レベルでNYオープン。本日は米経済指標の発表等が予定されていない中、朝方は104.50付近での推移が続くが、250ドル超上昇していたダウが徐々に上げ幅を縮小させる展開に、ドル円は上値を切り下げて104.20まで下落する。午後に入ると更に円買いが優勢となり、104円を抜けると一段と下落し、先週の安値103.56に迫る103.77まで下落した。翌日のイエレンFRB議長の半期に一度の議会証言については、先日FOMC後に記者会見があったばかりということで、よほど突っ込んだ質問が出ない限りは材料視されないとの見方が強まる中、狭いレンジ内での推移が続く。103.92レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1329レベルでNYオープン。朝方は1.1357まで上昇する局面があったものの、ユーロポンド、ユーロ円が下落する動きに上値を重くし1.1303まで反落する。終盤に掛けては狭いレンジ内での推移が続く。1.1314レベルでクロスした。(NY00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月20日	8:50	日 貿易収支	5月 -¥40.7B	¥823.2B
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	5月 0.4%/~2.7%	0.3%/~2.9%
	16:50	日 黒田日銀総裁講演	-	-

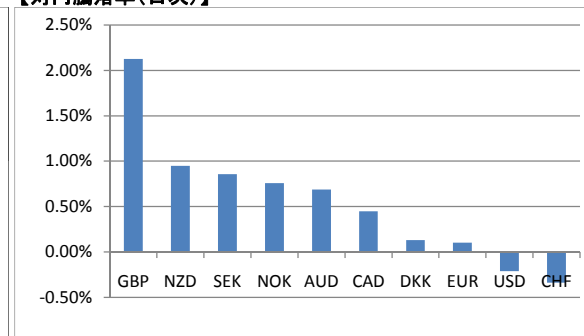
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月21日	8:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨(4/27-28分)	-	-
	10:30	豪 RBA理事会議事録(6/7分)	-	-
	18:00	独 ZEW現況/景気期待指数	6月 53.0/4.8	53.1/6.4
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	6月 -	16.8
	22:00	欧 ドラギECB総裁講演	-	-
	23:00	米 イエレンFRB議長上院議会証言	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.30-104.80	1.1250-1.1400	117.00-118.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場は、週末に発表された英国民投票の世論調査で残留派優勢の結果にリスクオン地合となったことを受けて、アジア・欧米株式市場が堅調な動きにドル円は104円後半まで上昇するも、105円手前での売り意欲も強く、主要米経済指標の発表がない中、米株がプラス幅を縮小し始めると104円00割れ。その後も、短期筋のストップを誘発しながら、先週の安値に迫る103円77まで下落した。本日は、引き続き英国民投票の世論調査等を睨みながら、四半期末を控えた本邦企業の動きが活発化すれば、先週の安値を割り込む展開も考えられる。